

## 2024年の放送界概観

梅 本 樹\*

本稿では、2024年の放送界をいくつかのトピックスごとに概観する。

### ◆災害時の放送の役割

1月1日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震（令和6年能登半島地震）が発生し、緊急地震速報のほか、能登に大津波警報、日本海側の広い範囲に津波警報と津波注意報が出され、NHK と民放は通常番組を報道特別番組に切り替えて放送。同日以降、テレビ各局は系列局の応援を得て取材や特番などの災害報道体制を敷いた。SNS 上では被災者に向けた有益な情報だけでなく多数の偽情報も拡散され、放送はそれを打ち消す報道も行った。

1月4日、能登半島地震の影響で石川県輪島市の一部で NHK と県内民放4局が停波していると総務省が発表。同9日、NHK、臨時対応として4月以降に停波する旧 BS プレミアム（BS103ch）のチャンネルで地上波の全国ニュースや金沢放送局の地域向けニュースの放送を開始した。同12日からは総合テレビのほぼすべての番組も視聴可能となった。同24日、総務省が NHK と民放4局の地上波テレビの・ラジオの放送が同日13時30分までに復旧したと発表した。

### ◆改正放送法が公布

改正放送法が、衆参両院で可決・成立し、5月24日に公布された。今般は、大きく2つの改正事項があった。1つ目は、NHK が民放のあまねく受信努力義務（92条）の実施に必要な協力をすることを努力義務から義務に格上げするもので、公布日から3カ月以内に施行。放送が見聞きできる環境（受信環境）の整備について、民放が協力の協議を求めた場合に、NHK は正当な理由がない限り応じなくてはならない。総務省・NHK・民放で構成する「中継局共同利用推進全国協議会」における地上波テレビ中継局の共同利用の協議を法的にも後押しする改正だ。

2つ目は、NHK の必須業務に、番組（同時、見逃し・聴き逃し）と番組関連情報（ニュースなどの文字情報など）をネットを通じて配信することを追加するもので、公布日から1年6カ月以内に施行される。必須業務化に伴い、「特定必要的配信」の受信を開始した人は、テレビ放送と同様に、NHK と受信契約を結ぶ必要がある。NHK は2025年度後半のスタートを目指し、準備を進めており、特に、番組関連情報は、業務規程の策定が必要で、その規程が公正な競争に支障が生じるか否かについて利害関係者等の意見を聴取しなければならないこととなった。

改正放送法を受け、総務省は11月15日に「日本放送協会の番組関連情報配信業務の競争評価に関する検証会議」を開催。同検証会議の構成員の意見を集約し、12月18日付で「日本放送協会の業務

---

\*うめもと いつき 一般社団法人日本民間放送連盟 番組・著作権部

規程に係る意見」が総務大臣へ提出した。意見は、▽NHKが提出した業務規程（＝番組関連情報配信業務の実施に関する規程）の内容について、改正放送法の公正な競争の確保の規定に適合していないとする意見は見られなかった、▽NHKが番組関連情報配信業務を実施するにあたっては、検証会議における構成員からの意見も踏まえて、メディアの多元性の確保を含む「公正な競争の確保」に向けて取り組んでいただきたい——としている。

なお、NHKと民放の地上テレビ中継局の共同利用を推進するため、NHKは12月3日、基幹放送局提供子会社（共同利用会社）の設立に向け、同子会社への出資を経営委員会で議決した。同13日には電波監理審議会は出資の認可を適当とする答申を出し、総務大臣が認可。同25日に設立され、2025年末を目途に事業を本格化させる方針だ。

### ◆総務省の動き

総務省は12月13日、「デジタル時代における放送の将来像と制度の在り方に関する取りまとめ（第3次）」を公表した。親会の取りまとめは、①放送の将来像、②小規模中継局等のブロードバンド等による代替、③ラジオ放送における経営の選択肢——の3テーマについて提言した。

上述の第3次取りまとめの提言に沿う形で、総務省は12月13日、「AM局の運用休止に係る特例措置に関する基本方針」を改定した。AM局の運用休止に係る特例措置の適用期間を、再度設けることが改定の主眼。基本方針は、民放AMラジオ事業者のFM転換やAM局廃局の検討に先立ち、その影響を検証するため、一定期間、AM局を運用休止できる特例措置を設けることとし、2023年3月に公表していたもの。

### ◆トピックス

パリ2024オリンピックが7月26日から8月11日（現地時間）に開催され、日本は金20個、銀12個、銅13と合計45個のメダルを獲得し、海外開催の大会では金メダル数と合計数は史上最多を記録した。民放とNHKは開閉式や各競技を放送したほか、TVerとNHKプラスでそれぞれ配信した。ビデオリサーチの発表によると、関東地区の番組平均世帯視聴率では、8月5日の「バレーボール男子準々決勝・日本×イタリア」（NHK総合）が23.1%でトップ。8月11日の「陸上・女子マラソン」（NHK総合）が18.7%、7月31日の「バレーボール男子予選ラウンド・日本×アルゼンチン」（NHKEテレ）の17.9%と続いた。TVerは、パリオリンピック期間中の特設サイトを開設し、NHKの地上波で放送する一部競技などを除き全試合同時・見逃し配信を実施するとともにテレビ中継がない競技も配信したほか、毎日ハイライト映像も届けた。8月14日、ビデオリサーチは、パリオリンピックコンテンツの総再生数が1億1,000万再生を突破したと発表した。

11月29日、日本テレビ系列4社（札幌テレビ放送・中京テレビ放送・読売テレビ放送・福岡放送）が2025年4月1日に認定放送持株会社「読売中京FSホールディングス」を設立し、経営統合すると発表した。

IBC岩手放送など民放AMラジオ13社は、2月からAM局の運用休止を順次開始した。AMラジ

オ放送事業者の FM ラジオ放送への変更（FM 転換）や AM 局廃止の検討にあたり、その社会的影響やリスナーへの影響を最小限にする観点から、総務省は2023年に一定期間 AM ラジオ放送を休止する特例措置を設けた。23年の地上基幹放送の一斉再免許に合わせラジオ13社が特例措置の適用を受け、運用休止の開始に向けてリスナーや自治体などへの周知を行った。

#### ◆番組等での問題

2月1日、日本テレビ系列31社で構成する「公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会」は、2023年11月に発覚した日本海テレビ元幹部による寄付金着服を受け、再発防止策を発表。内部調査の結果、新たな不正事例は確認できなかったが、外部弁護士を含むチームを編成し、募金活動における新たな規約の策定や募金活動のモニタリング調査の実施などにより、信頼回復に努める。日本テレビは同17日、本事案の再発防止策の取り組みや考え方を特別番組で全国放送した。

2月8日、日本テレビは、漫画家の芦原妃名子さんの死去を受けて特別調査チームを設置。ドラマ化された人気漫画『セクシー田中さん』の脚本をめぐり、制作側と見解の違いが生じていたとされていることなどについて、これまで独自で調査を行ってきたが、小学館の協力を得て外部有識者に協力を依頼、ドラマ制作部門から独立して社内調査を進めた。5月31日に調査報告書を、7月22日には「日本テレビドラマ制作における指針」を公表した。

6月19日、TBS ラジオは、同社営業担当者が独断で CM 素材を差し替えていたと発表し、おわびした。9月4日に TBS ラジオと TBS ホールディングスが社内の調査結果と再発防止策などを公表したほか、民放連緊急対策委員会は民放連としての対応を決定するとともに同社に「嚴重注意」文書を手交し、再発防止策の真摯な実行などを求めた。同6日、緊急対策委員会の審議結果を踏まえ、会員全社に「CM 取引・運行の再点検」と「コンプライアンスの徹底」を文書で要請。9月27日には「放送確認書の運用に関する全社会議」をオンラインで開催し、放送確認書の重要性を再認識するとともに、CM 取引および運航に関する社内プロセスを再点検する契機とした。

8月19日、NHK ラジオ国際放送などの中国語ニュースで中国籍の外部スタッフが原稿にない尖閣諸島の帰属などについて日本政府の公式見解とは異なる不適切な発言を約20秒ほど行った。NHK は陳謝し、同20日から中国語ニュースを事前収録に切り替えるとともに再発防止策を検討することを発表。9月10日、稲葉延雄 NHK 会長が記者会見で謝罪するとともに調査報告書を公表。同11日に総務省は NHK に「注意」の行政指導。公共放送の使命に反するとして、再発防止策の徹底の公表を求めた。

#### ◆放送倫理・番組向上機構（BPO）の動向

NHK と民放連が作る放送界の第三者機関である放送倫理・番組向上機構（BPO）は、3月15日、2023年で発足20周年を迎えたことを記念し、『BPO の20年そして放送のこれから』を発行。各界の第一線で活躍する14人からの放送・BPO に向けたメッセージや設立20周年記念セッションの様態などを収録。無料電子書籍を BPO ウェブサイトに掲載している。

BPO は以下の決定などを公表した。

・放送倫理検証委員会

1月11日、TBS テレビの報道番組『news23』で2023年1月12日に放送した JA（農業協同組合）職員による“自爆営業”をめぐる調査報道企画に「放送倫理違反があった」とする見解を公表した。「取材源の秘匿を貫くことができなかった」と判断。ただし、各社が調査報道に積極的に取り組んでいることは高く評価し、挑戦の継続を期待した。

以 上